

令和元年度 第2回下関医療センター地域医療支援病院運営協議会
(JCHO地域協議会) 議事概要

- 日 時 令和2年3月4日(水) 19時00分～19時35分
- 場 所 JCHO下関医療センター 2階カンファレンスルーム
- 次 第
 - 1. 開会
 - 2. 院長挨拶
 - 3. 議題
 - (1) 地域医療支援病院としての業務遂行状況について
 - 下関医療センターの概要
 - 患者の動向
 - 紹介・逆紹介の件数の推移等
 - 地域の医療従事者、住民等に対する研修の実施状況
 - 奇兵隊ネット利用状況等
 - 患者相談件数及び相談支援内容
 - 令和元年度TQM活動報告
 - 令和元年度患者満足度調査
 - (2) 2019年度の新しい取り組み
「伊崎三丁目元気会への出張講話」 「ケアマネワークショップ」
「ポリファーマシー」
 - (3) 外部委員からの要望
 - (4) 意見交換・質疑応答
- 出 席 者
 - 木下 毅 一般社団法人下関市医師会会長
 - 芳川 修栄 一般社団法人下関市歯科医師会副会長
 - 浜田 幹生 一般社団法人下関市薬剤師会副会長
 - 村上 達哉 下関市消防局次長
 - 櫛田 宏治 東亜大学学長
 - 上村 和治 上新地自治連合会、上新地町二丁目自治会会長
 - 濱本 勉 伊崎自治会連合、伊崎三町自治会会長
 - 山下 智省 下関医療センター院長
 - 北 能演 下関医療センター事務部長
 - 軍神 弘美 下関医療センター看護部長

○ 院長挨拶

本日（令和2年3月4日）、下関市で中国地方・山口県で初の新型コロナウイルス感染者（COVID-19）の確認がされ、それぞれのお立場で落ち着かない一日であったと思います。当院も先程まで対応に追われておりました。

このような状況から、本協議会の中止も検討しましたが、この程度の規模であれば開催させていただいた次第です。忌憚のない意見をお聞かせいただければと思います。

○ 欠席及び代理出席について

欠席について

九十九 悠太 下関市保健部部長、下関市立下関保健所所長

波佐間 清 下関市社会福祉協議会会長

代理出席について

欠席 北村 満男 下関市消防局局长

代理 村上 達哉 下関市消防局次長

議事概要

(1) 地域医療支援病院としての業務遂行状況について

- ・平成30年度の業務報告について、資料をもとに事務局が説明する。

(院長) 入院・外来共に患者数が減少傾向にあります。下関市の人口が減少していますが、特に旧中心部といわれていますこの地区の減少率が周辺よりも大きいこと。また、この地区には当院と下関市立市民病院の急性期の公的病院が2病院あることもあり、患者の取り合いということもこの要因であると思われます。

病院経営においては厳しい状況ではありますが、急性期病院として診療できる患者をより多く診ること。また、地域の医院に逆紹介し連携することによって患者の減少を食い止めたいと考えております。また、それ以上に医療の質を高めることで地域に貢献することを目指しております。

(議長) 患者数が減少しているとのことですが、2月はどうでしょうか。

(院長) 例年、冬期に患者が増加傾向にあるのですが、それ程でもありません。

(議長) 新型コロナウイルスの影響はありますか。

(院長) 今のところ影響はありません。

(2) 2019年度の新しい取り組み

「伊崎三丁目元気会への出張講話」 「ケアマネ・ワークショップ」

「ポリファーマシー」

- ・2019年度の新しい取り組みのパンフレットをもとに事務局が説明する。

- 伊崎三丁目元気会への出張講話

(院長) 4月から「健康横丁」というタイトルで、患者さん向けに健康に関する講話を行っております。前回の協議会でこれを紹介いたしました。その際、濱本伊崎自治会長様から出張講話のご希望がありました。

早速、1月11日(土)、「伊崎三丁目元気会」に出席させていただきました。「元気会」だけに、さすがにみなさんお元気でした。

(委員) 山下院長が突然来られて講話していただいたので、みなさんビックリして感謝しておりました。ありがとうございました。

(院長) このような出張講話を行っていることを、どのようにして各自治会に伝えていくか苦慮しております。自治会のリストがありますでしょうか。

(委員) 自治会会長の連絡先リストは用意できます。また、毎月1回土曜日、西部公民館にて、「オレンジカフェつづみ」を行っています。約50名程度参加しています。

(院長) そのような会に出向いてもいいですが、連絡先リストがいただければ助かります。

● ケアマネワークショップ

(院長) 地域のケアマネジャーの方々と勉強会を9月から開始いたしました。在宅の一般患者さんと病院を結ぶのはケアマネジャーであり、その方との連携を深めることが目的です。

在宅で病院もかからない、クリニックもかからない、先程のようなコミュニティ活動にも参加しない方々には、不健康な方がたくさんいます。急に診療を受けられても手遅れになる場合もあります。

その前の段階から、健康に気を使ってもらうための橋渡し役が地域のケアマネジャーですので、連携を強化するためにこの取り組みを行っています。取り組んで半年ですが、今後も継続していきます。

● ポリファーマシー

(院長) 高齢者の方はたくさんの医療機関にかかっておられますので、どうしても投薬が多くなりがちです。多くの薬を飲むことによって副作用が増してきます。また、薬の組み合わせで悪い作用がでる場合があります。できれば薬は6種類以下に抑えましょうという取り組みです。

勿論、当院だけではできることではありません。クリニックや薬局との連携が必要となります。

まずは、当院や介護老人保健施設に入所された機会に適正な処方であるかを洗い出して、できるだけ減らしていこうと薬剤部が取り組んでいます。

薬剤師会の方々とも協力して行っており、今後、地域周辺の医療施設、薬局とも連携し拡大していきたいと思えます。

(委員) 下関市の糖尿病教室協議会に先日出席した際に、栄養士会の方から自治会等に出向いて栄養、食事指導等を行っているということを知りました。前回自治会の方から出張指導を行って欲しいという話があり、今回医療センターで実際に実施されています。栄養士会としては是非とも要望があれば、連携して、出向くことも可能なので、連絡して欲しいと話しています。

(委員) おくすり手帳に薬剤管理サマリーを貼っておられますか。

(薬剤部長) 貼ってあります。

(議 長) 薬剤管理サマリーはどれくらいの件数でしょうか。

(薬剤部長) 点数が算定できる方で実施件数は月に5名程度しかありません。

来年度からは診療報酬改定により検討した場合でも算定できますので積極的に件数を増やしたいと思います。

3年計画で下地を作ってやってきておりますので、当院の薬剤師の意識も変わってきています。また、医師会の先生方の意識改革も必要ですので、情報提供や勉強会も行いますので、ご協力の程お願いいたします。

(議 長) 薬剤管理サマリーは退院後はやられていますか。

(薬剤部長) 今のところ退院後までは行っておりません。

(3) 外部委員からの要望

特になし。

(4) 意見交換・質疑応答

新型コロナウイルス (COVID-19) の対応状況等について意見交換する。

4. 閉会